

ターミナル

白く磨かれた場所には  
銀色の光沢さえ映える  
すれ違う人の群れに  
閉口することなく  
横を通り過ぎる

浮かれる雰囲気の中に  
点在する緊迫した空気  
仕事への懸念か  
落ちることへの恐怖か  
包容力のあるステージの顔

統一感の無いもやに触れ  
感情をもらいながら  
緩く受け止め返す  
行ってらっしゃい  
お帰りなさい

一人減り二人減り  
群れは完全に散った  
静寂がおとずれた中で  
バルコニーにもたれかかり  
港内を見渡す

物音のしない光が射し込み  
一日を浄化する  
繰り返す日々と  
変化を求める呼吸の狭間で  
おやすみなさい